

保護者等からの事業所評価集計結果（公表）

公表：令和 3 年 2 月 9 日

事業所名：多摩市ひまわり教室

保護者等数（児童数）41名 回収数39名 割合：95.1%

| | チェック項目 | どちら ともい えない | | | | わから ない | ご意見 ※受付順に記載 ※（ ）内は同様意見数 | ご意見を踏まえた対応 |
|---------|---|-------------------|-----|-----|----|---|--|------------|
| | | はい | いいえ | | | | | |
| 環境・体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 77% | 21% | 3% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・十分だと思うが、広ければ広いほど自由に走れる空間ができて子どもは更に満足できる気がする。 ・我が家より広い、充分。 ・ベランダが特に狭いが、子どもの様子が目に届きやすいので、どちらともいえない。 ・園庭（ベランダ）は走り回るのに、少し物足りないように思える。見守ることを思うと仕方ないのかもしれないが。 ・3歳のみかんの部屋が若干狭そうに感じる。 ・室内、ベランダ、中庭がそれぞれもう少し広く、身体を動かす遊具も多いと良い。 ・お友達の間にある玩具が当たることがあり心配。 ・活動用スペース+事務所+物置場以外に、あと2~3部屋あっても良いなという印象。 ・ベランダがもう少し広いほうが良いが、その他は確保されていると思う。 ・その時の部屋にいる人数によって十分な時も狭く感じる時もある。 ・広々とした活動スペースで楽しく活動できており、ベランダや広場など外で遊べるスペースもあり、良いと思う。（2） ・ロッカーが足りない職員も言っている。2歳児のロッカーは狭くて、冬はコートもかさばるので荷物を入れるのが大変。 ・もう少し子どもたちが走り回れるように、広場を使える機会が増えたとよいと思う。 ・人数にあったスペースだと思う。 ・外遊びの機会をもっと増やしてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・制度上では定員27名の場合、部屋は81㎡（27×3m）とされています。ひまわりは1階の3部屋（合計128㎡）あり、2階の個室とプレイルームを含めると228㎡近いスペースがあります。 ・外の環境ではベランダと広場があり、遊歩道や公園等の社会資源も確保されています。 ・この環境を活かし、クラスごとに連携して計画的に使用する中で、身体をたくさん動かせる機会を増やしていきたいと思えます。 | |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 54% | 33% | 10% | 3% | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが登園拒否になった時、自分の教室に入れなかった時でも付き添ってくださり、適切な支援のおかげで見事に克服まで導いてくれた。 ・今年度だけは色々なことが重なり、OTが以前の様に受けられなくなったり、STがどうなのか不安があった・・・。けども、今まで充分すぎる程、手厚く見てもらっており、スタッフ皆さまの関りが、子どもにとってOTSTだったりするので、不満はなく感謝のみ。 ・幼保のことがわからないのではっきりはしないが、子どもへの対応はカバーできる人数がいるように感じる。また、発達の事で相談もしやすく、専門性のある回答を得られている。 ・職員不足を感じており一番不安な面。 ・もう少しスタッフの数が多くても良いと思うが、現実的には難しいのかもしれない。 ・増員したほうが安心と感じた。 ・入職スタッフ、退職スタッフがとて多く、保護者にとってとても不安だった。新しいスタッフがどのくらい専門的に支援しているのかが分からない。 ・職員の長期休業、退職により、人員が足りない時期が長期あり不安だった。STの退職により定着支援がどうなるかも不安。 ・STOTの専門職員の退職が続き、今までの様な支援が満足に受けることができなかった。 ・すごく熱心に対応していただいている。配置数はもう少し多いといいなと思う時もある ・STの後任が見つからずSTを受けられない。突然職員が退職すると、人手が少ない中で働いている。保育ではなく療育の場なので、まずは、基本的人的環境を整えることが何よりも大切。支援の必要な子ども達の為に働いている方の支援をしてほしい。 ・コロナで休職、離職は仕方ないが、スタッフの人数が不足しているように思う。 ・目の届く範囲に職員がいるので安心。 ・人数は丁度良いが、専門的な職員が退職されたりし、心配な面もある。 ・ST退職したが、今後もSTの指導を是非お願いしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・国と東京都の基準では、定員27名のひまわりは職員数が7名（1日当たり）となっており、多摩市は9名としています。 ・病気でのお休みや研修等を考え、現在11名を配置しています。 ・職員の退職に伴う求人とは早くから始め、スタッフ数は確保しましたが、新しいスタッフが増えたことで、ご心配をおかけしました。 | |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 92% | 8% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・本人ははっきり理解しながら部屋の移動をしている様子。 ・個々の状態に合わせた環境を作ってくれているし、成長に応じ、常に最適な環境作りをしてくれている。 ・視覚による理解がしやすく、子ども達がスムーズに行動できるような環境になっていると思う。子どもの能力や成長に応じた配慮がされていると思う。 ・他所を見たことがないので比べようがなくよくわからないが、バリアフリー化が完璧ではないとは思う。 ・過ごしやすく、行動しやすい空間だと思う。 ・こどものフィジカル的な問題がないのでその点は満足しているし、視覚化していただいているのでわかりやすいと思う。 ・危ない段差もなく広々としていると思う。建物内に発達支援室があり、情報伝達はスムーズ。 ・良い環境である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お子様の成長や変化に合わせ、必要に応じてアレンジしていきたいと思えます。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 92% | 5% | 3% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・いつも清潔に保たれている空間で、玩具も分かりやすく整頓されており、伸び伸び活動しているように見える。（2） ・このコロナ禍で、更に気を付けて下さっており、本当にありがたい。 ・生活動線を含めて子ども達が清潔に過ごせるように配慮されていると思う。 ・まめに消毒もされていると思う。 ・備品を壊れたまま使ったりしているので、スタッフの手間を減らすために必要な物はすぐに揃えられるようになれば良いのにとひっそり思っている。 ・いつも過ごしている中でそのように感じる。 ・清潔に保たれていて、いつも行って心地よい。（2） ・トイレは子どもは検定で、保護者は靴下で入り、そのまま部屋に戻る。コロナ感染が広がると思うし、せめて保護者はスリッパが欲しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から、トイレ前にマットを敷き、出る時に足裏を拭けるように配慮しましたが、今後も更なる工夫を検討したいと思います。 ・大人トイレに、スリッパを設置します。 | |
| | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか | 97% | 3% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・児童は何人も通所しているにも関わらず、細やかに子どもを観察して下さっており、丁寧な支援計画が練られていて素晴らしいと思っている。 ・なかなか言葉にしにくい課題や困り事もくみ取って明文化し支援計画が作成されているので、親としても子どもの課題が見えやすい。 ・それぞれ事情があると思うが、若干人手不足かなと思う。 ・とても詳細かつ分かりやすく作成されている。 ・丁寧にアセスメント、面談をして、作成していただいている。 ・子どもの発達状態を見ながら丁寧な計画が作られている。（2） ・子どものニーズはとて多く力を入れているが、保護者のとなると家庭における課題においては連携がよわいのではないかと感じる。 ・子どもの分析をしたうえで保護者の希望などを聞き入れ適切に作成されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。今後も丁寧なアセスメント、支援計画作成とその説明を心がけ、保護者の皆様とお子様の成長を共有していきたいと思えます。 | |

保護者等からの事業所評価集計結果（公表）

公表：令和 3 年 2 月 9 日

事業所名：多摩市ひまわり教室

保護者等数（児童数）41名 回収数39名 割合：95.1%

| | チェック項目 | どちらともいえない | | | | ご意見 ※受付順に記載 ※（ ）内は同様意見数 | ご意見を踏まえた対応 |
|--|---|-----------|-----|-------|--|---|---|
| | | はい | いいえ | わからない | わからない | | |
| 適切な支援の提供 | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 95% | 3% | 0% | 3% | <ul style="list-style-type: none"> ・本人に合った的を得た支援内容に満足している。 ・詳細から具体的で、大変わかりやすい。 ・親子参加週間やOTST等で、プログラムの目的を伝えてくれて、また、その子どもにあった支援をアドバイスしていただいたり、子どもにあった目的を話してくれるので、適切だと思う。 ・具体的な支援が書かれていた。（2） ・午前、午後とどこからして身体を動かす時間があると良い。ずっと室内、ちょっとベンダではからだと持て余すが多いのでは。帰宅してから体力を使った遊びをするのはとても大変（散歩など） ・適切に選択されて具体的に支援内容が設定されている。 | ありがとうございます。ひまわりの個別支援計画は、大項目4つの中に下位項目10項目があります。また、保護者の意向欄、重点目標、家庭での配慮点（2歳児のみ）、健康（必要なお子様のみ）などの項目があります。細かく量が多いため、お読みいただきご検討されるのには大変だと思いますが、今後よろしくお願いたします。 |
| | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 95% | 3% | 0% | 3% | <ul style="list-style-type: none"> ・通うようになってから確実に進歩してきているので、計画に沿った支援が行われていると思う。（3） ・行われている。 ・適切に支援していただいている。 ・コロナ禍で面談や見学会の機会が減ってしまい、前年度ほどはつきりわからない。 | ありがとうございます。 |
| | 8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか | 89% | 0% | 3% | 8% | <ul style="list-style-type: none"> ・本人が飽きている様子は全くないので、固定化されず、いつも新鮮な気持ちで取り組んでいる。 ・一見同じ活動に見えても、ねらいが変わっていて都度教えてくれるので、工夫を感じる（2） ・毎回滞りなく工夫されている。 ・毎月/バランスの良いプログラムが設定されている。 ・併用利用のため不明。 ・もう少し身体をダイナミックに動かせる機会があると嬉しい。 ・様々な設定活動があり、子どももあきずに、楽しめている様子。 ・コロナでクッキングが出来なくなったが、それに変わるプログラムを工夫してくれてよかった。 ・お楽しみ会や遠足など楽しかった様子。 | ありがとうございます。活動には全てねらいを定めており、その中で更に個々のねらいがあります。今後も工夫をしていきたいと思います。 |
| | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 5% | 18% | 18% | 59% | <ul style="list-style-type: none"> ・妹もいて、定期的に交流しているのであまり気にしたことはないが、支援の中に障害のない子どもと活動する機会があったら、本人にとってすごく良い刺激を受けたり、さらに楽しめるだろうと感じる。 ・年長児だけ毎年ある予定だったと思うが、今回は出なくなったと思う。ただ、そもそも交流が必要なのかと言われると、親や子で意見が分かれそうだと思う。 ・コロナ禍もあり他施設との交流はなかった。初年度なのもあり、通常の年がどうなのかわからない。 ・まだその機会を経験していない。（4） ・コロナの関係で今年はできてない。（3） ・併用利用のため不明。 ・併行利用のため、そういう機会はない。 ・交流はないが問題ない。必要性も感じない。 ・コロナ禍で難しいのかもかもしれないが、今後こういった機会があったら嬉しい。 ・幼稚園等に通っていないので何とも言えない。 ・遠足などで同じ遊具で遊ぶことはあった。 ・今後関わりあえると良いとは思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、年長児は2~3グループに分かれ、8月に学童クラブと交流をしています。年長児はその年齢にふさわしい育ちがありますので、交流自体をねらいとして、更に個々へのねらいも考えてグルーピングをしています。全てのお子様を対象とするかについては、今後も検討していきます。 ・なお、社会的なルール等の経験は、周辺にあるたくさんさんの公園遊びで関わる、利用児以外のお子様とのやりとりを通じて支援したいと思えます。 |
| | 10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 90% | 10% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・通所前に十分に説明してくれた。（3） ・保護者会で毎回説明していただいているし、聞けば説明してくれる。 ・しっかりと説明があり、わからないことがあってもいつでも応えてくれる。 ・定期的にお手紙の配布などで説明されている。 | 今後も分かりやすい丁寧な説明に努めます。 |
| | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか | 100% | 0% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・何か気になることはないが質問はないか、心配りしながら説明してくれた。 ・申し訳なく思うくらい、丁寧に示していただきながら説明していただいている。 ・丁寧な説明があった。（2） ・面談でいつも丁寧に説明いただいている。（2） ・今後更にペアレントトレーニングについて知る、学ぶ機会が増えるといいと思う。 ・面談などでも保護者に確認、丁寧な説明がされている。 ・「この遊びが、この支援に繋がっている」ということが、もう少し具体的に伝えて頂けると、より適切に関わり合えるかなと思う。 | 今後も分かりやすい丁寧な説明に努めます。 |
| | 12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか | 69% | 3% | 10% | 18% | <ul style="list-style-type: none"> ・3か月間月1回やっていただいたが、また機会があったらやっていただきたいと思う。とても勉強になって学んだことが多いから。 ・通園して子どもの特性や行動の理由を理解できるようになった。また、対応の仕方も丁寧に教えてもらっている。 ・現在はコロナで難しいと思うが、2歳児クラスの時の様にグループでSTの学習のようなプログラムがもっと欲しい。 ・入園後すぐは行われるが、その後はそういった機会はないように思う。 ・ペアレントトレーニングはないが、都度個別に面談や相談には応じてもらっている。 ・あるという話しか聞いていないのでわからない。 ・年少児にした。 ・話を聞いたことはあるが、実際に受けるにはどうしたらいいかわからない。 ・最初のSTグループにて親へ教えて頂いたが、その後は特にない。面談がその代用か？ ・STOTなど適切に行われている。 ・親子通園や面談の際に、色々アドバイスをいただいた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニング及びプログラムは国が積極的な実施を勧めている事業です。令和3年度は発達支援室が開催すると聞いていますので、その折にはご案内します。 ・保護者会と同時開催をしている学習会やパパ会、先輩ママの話を聞く企画等は、コロナ禍が落ち着いたら再開したいと思います。 ・STの個別療育開始前の保護者学習グループが、好評でありありがとうございます。 |
| 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていくか | 85% | 10% | 3% | 3% | <ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供記録で、日頃からいろんなことを共通理解することができていると思う。 ・看護師の方もいらっしゃるのので、健康面も聞けるので助かっている。 ・いつもお話を聞いて確認していただいたり、様子を話していただく。 ・連絡帳を通してしているが、面談の数がコロナ禍で減り十分でないように思う。 ・連絡帳に月～金、今日行ったことを書いて終了とするのではなく、曜日ごとに食事、排泄、遊びなど書く項目を決めてひまわり側から教えていただければと面談以外で伝えやすい。 ・サービス提供記録で多少は教えていただいているが、課題など「日頃から」というのは該当しないかと。 ・子どもの成長や発達状況、それに対する提案なども良く話してくれる。 ・疑問などにもいつもきちんと答えていただいている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供記録を記載する時間の確保が難しい状況がありますが、今後も情報の共有に努めます。 | |

保護者等からの事業所評価集計結果（公表）

公表：令和 3 年 2 月 9 日

事業所名：多摩市ひまわり教室

保護者等数（児童数）41名 回収数39名 割合：95.1%

| | チェック項目 | ご意見 ※受付順に記載 ※（ ）内は同様意見数 | | | | ご意見を踏まえた対応 | |
|----------|--|-------------------------|-----------|-----|-------|--|---|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | | |
| 保護者への説明等 | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 92% | 8% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で面談が中止になってしまったりだが、定期的に助言を受けられていて助かっている。（2） ・コロナ感染対策のため、面談や親子参加中止で話す機会が減ってしまった。 ・個人面談が申し込める。 ・面談だけでなく親子参加週間、O T S などアドバイスを受けたり、相談できる場面も多いので満足している。 ・電話でも直接でもしっかりお話を聞いてくださってアドバイスしてもらっている。 ・希望面談等があり、色々助言をいただき役立っている。 ・連絡帳を通してしているが、面談の数がコロナ禍で減り十分でないように思う。 ・皆さん気さくに話しかけてくれるので、相談しやすい。 ・わからないことや相談事をすると、親切に答えてくれる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナ禍で不十分ではありますが、通常は、面談は、個別支援計画と振り返り書の作成時期（年2回）と希望面談を実施しています。また、親子参加週間、個別や小グループ療育での同席又は見学、サービス提供記録、メール等でお話をさせていただいています。 |
| | 15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 79% | 10% | 3% | 8% | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の繋がりができる機会があり、親しく交流できるようになった。 ・コロナで今はなかなかないが、通常なら定期的にある。（2） ・P/V会などもあり、なかなか育児場面に参加しにくい父親の参加や勉強する機会が設けられているので、保護者としても支援をされているととても感じる。 ・コロナで色々厳しいと思うが、P/V会があるならママ会は難しいか。 ・P/V会（父親のみ対象）を開催されていて、子どもの理解を深める内容の会に感謝している。 ・活動は定期的に行われている。 ・コロナ禍で難しい状況と理解している。 ・P/V会の開催はとても良いと思う。保護者同士が顔を合わせる機会はあるが、育児の悩みを話したりする場はない。 ・音楽の日や親子参加週間などで保護者同士で良く話している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナ禍で保護者同士の連携はなかなか企画することができませんでした。特に毎月の親子参加週間が実施できず、保護者同士が顔を合わせる機会が極端に少なくなったことが残念です。 |
| | 16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 97% | 0% | 0% | 3% | <ul style="list-style-type: none"> ・いつも素早い対応で子どもに起きた悩みは解決に導いてくれる。 ・相談の申し入れにすぐに対処されていると思う。急な病気がかまたはぐずり等で連れて行った際も、どのスタッフも周知されていて、子どもにあった気遣いや声かけがされている。 ・急な申し入れでも対応していただき相談に乗ってもらえるので、ありがたい。（2） ・どのように申し入れたいかを丁寧に教えていただき、必ずすばやく対応いただいている。 ・親身になってくれるという信頼感を持っている。 ・適切に対応されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。今後も保護者の皆様からのお声を敏感にキャッチして対応させていただきます。 |
| | 17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 95% | 3% | 0% | 3% | <ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供記録からも配慮がされているし、保護者が行く機会があった時には必要なことはよく伝えて下さっている。 ・日々のサービス提供記録だけでなく、メールや電話等、情報伝達しやすいようになっている。 ・色々な手段でやりとりできるように配慮していただいている。（2） ・こどもにも積極的に話しかけて下さるので、何を求めているのか何が嫌なのか、よく理解されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 |
| | 18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 85% | 8% | 0% | 8% | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月プリントも渡されたり会報もいただき、いろんな活動の様子を知ることができている。（3） ・H p はわからないが、プリントで行事予定はわかる。 ・活動概要や行事予定などの情報はわかりやすく発信されていると思う。 ・行事予定や活動の予定は月のお便りで確認できる。それ以外は発信されていないように思う。 ・メールや手紙で出来事や行事、活動内容など、積極的に発信している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり便りは毎月1回、正夢通信（法人発行）は年4回配布しています。また、H p（※社会福祉法人正夢の会で検索）はリニューアルしましたので、どちらも是非ご覧ください。 |
| 非常時等の対応 | 19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか | 82% | 10% | 0% | 8% | <ul style="list-style-type: none"> ・十分注意して下さり、困ったことは一度もない。（2） ・時々他のお友達の話が漏洩されている気がする。 ・注意していただいている。（2） | <ul style="list-style-type: none"> ・個人が特定される情報の取り扱いには十分に配慮していますが、更に周知徹底したいと思います。 |
| | 20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。 | 92% | 3% | 3% | 3% | <ul style="list-style-type: none"> ・引き取り訓練の説明も、渡されたプリントからよく状況がわかった。 ・一生に必要になる大切な事を、この幼少の時からしっかりと訓練してもらえ、また毎回「なぜこの訓練が必要なのか」を、子ども達に説明して下さるので本当にありがたい。 ・緊急時対応や感染症対応に関しては、説明されていると思うが、防犯に関しては特にマニュアルがあったようには思えない。緊急時の想定訓練（防災、引き取り）はされている。 ・災害用伝言ダイヤルを活用した訓練は助かる（シミュレーション大事） ・初回面談でお話しいただいており、実施もあった。 ・新型コロナウイルス、感染症対応についても、その都度、プリント等でお知らせをいただいている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルは揃えています。 ・感染症対応については、ロールプレイでの内部研修、防犯については警察署にご協力を得て講習会の実施をしています。しかし、単年度ごとの実施となっていないため、今後は計画的に実施したいと思います。 |
| | 21 非常災害の発生に備え、定期的避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 92% | 0% | 0% | 8% | <ul style="list-style-type: none"> ・引き取り訓練の時に、子どもがちゃんと頭巾をかぶり座っている様子を見て、日頃訓練が行われているんだろうと感じた。 ・災害訓練はこどもたちもしっかり参加するように行われている。 ・併用のため不明。 ・引き取り訓練や171を活用して実践しているので不安はない。 ・地震発生を想定しての訓練があった。 ・避難訓練など安全かつ速やかな訓練が実施されている。（H30） | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方には、親子通園時に必ず最低1回はご参加いただき、経験していただいています。今年度はコロナ禍で中止していた時期がありますが、現在は毎月実施しています。 |

保護者等からの事業所評価集計結果（公表）

公表：令和 3 年 2 月 9 日

事業所名：多摩市ひまわり教室

保護者等数（児童数）41名 回収数39名 割合：95.1%

| 満足度 | チェック項目 | ご意見 ※受付順に記載 ※（ ）内は同様意見数 | | | | ご意見を踏まえた対応 | |
|-----|---------------------|-------------------------|-----------|-----|-------|---|--|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | | |
| 満足度 | 22 子どもは通所を楽しみにしているか | 92% | 3% | 3% | 3% | <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み明けの登園拒否があったが、今現在冬休み明けはいつも楽しみにして通所している。 ・毎日とても楽しみにしている。（4） ・週2登園だが、毎週とても楽しみにしている。 ・毎日楽しみにしており、休日になると「何で休みなの？」と責められる。 ・楽しそうに今日やったことを話してくれる。 ・土日長期休暇中にも「ひまわり行く～」と毎日行きたがってる。子どもの増減で環境の変化があった時は、楽しさが少なくなることもあるようだが、スタッフの配慮もあり、すぐに楽しく通園できる。 ・すんなり行く姿勢を見せることもあれば、とても嫌がって泣くこともあるのでわからない。 ・併用だったため、幼稚園に慣れてしまい通所させるのが大変だった。最後の方で楽しめるようになった。 ・スタッフの入退職が多かったため、子どもは不安定（気持ち）にならないか心配だった。 ・安心して通所している。 ・すごく楽しみにしていてそこに行くのに、日々の中で頑張ろうと思える原動力になっている。 ・時々行きたくないと言う日もあるようだが、行ってしまえば楽しめている。 ・とても毎日楽しんで帰って来ている。 ・今日は「ひまわりなの？」と訪ねてくるほど、楽しみにしている。 ・最近では職員の名前を言ったり、バス停ではひまわりバスが来るとはしゃいでおり、楽しそう。 ・「ひまわり行くよ～」と言うと、楽しそうにしている。本人には心地の良いところとして認識されているようで安心している。 ・ひまわりの日は朝の準備が早い。 | <p>ありがとうございます。楽しんで通園することが何よりであり、それには「安心」「信頼」が絶対条件だと認識しています。その上で、大人大好き、お友達大好きと成長していきます。そして「自分大好き」と成長してくれることを願っています。</p> |
| | 23 事業所の支援に満足しているか | 90% | 8% | 0% | 3% | <ul style="list-style-type: none"> ・安心して通わせているし、子どもも活き活きしてきている様子で、支援にはとても満足している。通所させることにして本当に良かったと思っています。 ・子どもに合った支援を丁寧にいただいているので満足している。（3） ・親の力だけではどうにもできないこと、努力しきれないことを、最大限に支援いただいていると思う。 ・個々の支援があって困りごとをする理由が理解できるようになった。理由が分かるだけで言葉のかけ方も変わって来た。なかなか見えなかった子どもの長所も見えてきて、子どもと接する時に親も少し心のゆとりを持てるようになった。 ・STなどの専門的な支援は若干物足りない感じはある。 ・100%ではないが、親としてはとても救われている。STの後任が見つかっていないことが少し不安。 ・専門職員（STOT）の退職により支援を受けられない日があり不満はあるが、それ以外に問題はない。 ・非常に満足している。熱意、温かさに、いつも感謝している。 ・とても良く、丁寧に子どもを見ていただいている。 ・コロナ禍で難しい状況だが、そのなかで尽力していただいている。 ・お預かりサービスを利用したいが、保護者が迎えに行かなければならず、家からの距離が長く大変で利用できない。働きたいがお迎えまでにかかる時間を考えると働いた時間が短くなり雇ってもらえない。お預かりサービスもバスの送りをお願いしたい。ひまわりに入ると働けない。保護者の就労支援もしてほしい。 ・いつもお世話になりありがたい。 ・子どものことを良く理解してくれるので、安心して預けられる。 ・日々家庭では子育てに迷いや不安、疑問の多い中支援していただけてとても心強い。 | <p>ありがとうございます。今後、更に満足度が挙がるように、創意工夫をしていきたいと思えます。</p> |

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。